

日本文化人類学会会員の皆様

第 27 期『文化人類学』書評主任 高倉浩樹

学会誌「文化人類学」には、書評が掲載されています。第 26 期編集委員会の尽力もあり最近の学会誌は充実した書評が掲載されることになりました。今期 27 期ではこの状況を継承・発展させるために、書評原稿の呼びかけについて以下二点連絡いたします。

ご覧いただき、皆さまの投稿をお待ちしております。

(1) 書評の原稿は学会員からの自発的投稿を基本としております。対象の書籍は文化人類学に関わるものが中心となりますが、隣接分野のものであっても、文化人類学の観点から批評されているものであれば会員への有益な情報になると考えています。外国語書籍についても日本語で紹介する原稿であれば、書評の対象となります。また第 27 期の編集委員会では、会員の意見の交換という観点から、同一図書に対する複数の人による書評があっても、原則、掲載するという方針であります。是非、積極的な投稿をご検討ください。

(2) 文化人類学会事務局には、関連する書籍が多数献本されております。「文献情報」ページ(http://www.jasca.org/library/new_books.html)にある情報のうち、「NEW!」「(献)」双方が付されているものが、現時点での最新の献本された書籍です。これらの図書をご自分が書評をしたいと考える方は、編集委員会までご一報ください。対象書籍をお送りします。希望が重複した場合、編集委員会で決めさせていただきます。また、「(献)」のみが付されている書籍にも、書評希望者にお送り出来るものがございます。なお、献本された本についての情報は定期的に更新します。

ご連絡いただく場合、メール本文にお名前、郵便番号、住所、電話番号、書籍名・著者名をご記入ください。なお、学会 HP の文献情報には今回リスト化した以外の献本も掲載されています。これについて書評のご希望がある場合も上記と同様の情報を添えて編集委員会まで連絡をお願いします。

献本の希望受付を含めて、書評についての照会は、以下の編集委員会あてにメールをお送りください。

book-review@jasca.org